

## 「資料2 地域福祉に関する千葉市WEBアンケート調査結果 について」の補足説明

### 【問1の回答結果】

「急病や災害時などの手助け」と「見守りや安否確認」のニーズが多く、それぞれ約半数の方が回答。

### 【問2の回答結果】

「防犯パトロールや登下校のパトロール」の認知度が最も高く、32%の方が回答。

### 【問3の回答結果】

「ある」と回答した方が29%にとどまっている一方で、45%の方が、「機会があったら参加したい」と回答。約7割の方が、「参加している」、または、「参加する意向がある」という結果。

### 【問4の回答結果】

最も多かったのは、「所属する地域団体の役職等になった」で、23%の方が回答。次いで多かったのが、「地域活動している方からの声掛け」で21%の方が回答。地域団体や人とのつながり等がきっかけとなっている方が多い。

### 【問5の回答結果】

「見守りや安否確認」が最も多く、38%の方が回答しており、関心が高い活動。

### 【問6の回答結果】

「時間がない」が最も多く、58%の方が回答、次いで、「新型コロナウイルス感染症への不安」を理由に挙げた方が、45%いる一方で、「ふだん地域活動との関わりがない」と回答した方が32%、「地域活動に関する情報がない」と回答した方が20%となっており、周知・啓発により、参加者を増やせる可能性がある。

### 【問7の回答結果】

最も多いのは、「好きな時に気軽に参加できる仕組み」が必要で、61%の方が回答。6番目には、「得意分野を活かした活動のみ参加できる仕組み」が必要という方も32%おり、活動要件の緩和、工夫により、参加者を増やせる可能性がある。